

山口県立萩高等学校

萩高校 JRC部

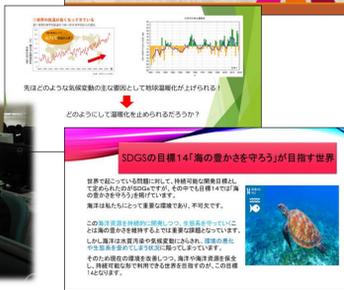


高校生ボランティア・アワード2021

「わたしたちにできるSDGs」

活動概要

SDGsの17の目標の中から6つを選び、グループごとに調べ、部内でプレゼンテーションを行いました。目標の意味や国内外の活動について部内で共有し、それを元に、私たちが実践できることを考えていきました。



1つ1つは小さい実践ですが、全校生徒によびかけたり、地域に出て行ったりと、活動を広めることを意識しています。

「小さな力が大きな志に」

活動の目的・志など

昨年、新型コロナの影響で、例年行っていたボランティア活動ができなくなってしまいました。しばらくは、校内や学校周辺の清掃に取り組んできましたが、今だからこそ、私たちにできることがあるのではないかと考えるようになりました。

活動を考える上で、SDGsの17の目標をヒントにし、「持続可能な世界のために、自分たちができることを少しづつやっつけていこう」と、それぞれが動き出しました。一人ひとりの小さな思いや力が、大きな志となって動き出しました。



12 つくる責任

エコバッグ使用の呼びかけ

つかう責任として、リデュース・リユース・リサイクルを推進し、ゴミの発生を減らすことが挙げられます。



移動販売のパンを購入する際、ビニール袋をもらっていましたが、その袋は一瞬でゴミとなります。ゴミを減らすため、全校集会でエコバッグの使用を呼びかけました。現在、私たちの呼びかけに賛同してくれた人たちが、パン購入時に、マイバッグを使用してくれています。



6 安全な水とトイレ

水と衛生募金

世界では3分の1の人が安全な水を使っていません。また、6割の人が安全に管理されたトイレを使っていません。不衛生な飲料水やトイレは子どもたちの健康に大きな影響を与えます。それだけでなく、コレラや赤痢など恐ろしい感染症の原因にもなり、毎年36万人の子供が命を落としています。



私たちは、給水設備を作ったり、トイレを設置したりする支援を間接的に行うため、全校生徒に募金を呼びかけました。昼休みに教室を回ったり、全校集会で呼びかけたりしています。



集まったお金は、ユニセフの「水と衛生募金」に送ります。このお金が、子供たちの健康に役立つことを願っています。

14 海の豊かさ

15 陸の豊かさ

萩市海岸清掃

海・陸の豊かさを守るためには、資源を持続的に開発しつつ、生態系を守っていくことが必要となります。生態系を歪めてしまう原因の多くは、ゴミによる汚染です。世界中で毎年800万トンのプラスチックゴミが海に流れており、生物が誤飲し、生態系に影響を与えています。波によって砕けたマイクロプラスチックによる人体への影響も問題となっています。

萩市の海岸に清掃に行きました。ここは足場が悪く、一般の方々にはなかなか清掃することができません。ペットボトルや、空き缶、外国からの漂流物などたくさんのゴミがありました。なかでも、波によって丸く削られた発泡スチロールが大量に散乱しています。削れた部分はマイクロプラスチックとなっていると考えると、恐ろしいです。



陸のゴミを減らすことが、海のゴミを減らすことにもつながります。これからもゴミ拾い活動を継続し、陸と海の豊かさを守っていきます。

スポGOMI甲子園

JRC部の中でも、特に体力に自信のある3名が、ゴミ拾い競技大会である「スポGOMI甲子園」に出場し、県大会で優勝しました。優勝全国大会への出場権を得ましたが、コロナ禍のため、東京行を断念、リモートで参加することとなりました。大量のペットボトルや発泡スチロールの他、キムチの樽など、制限時間1時間で40kgのゴミを拾いました。全国大会リモートの部で見事2位となり、この功績により、萩市で表彰されました。



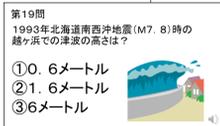
11 住み続けられる

13 気候変動に

世界各地で地震や豪雨などの自然災害が起きています。温室効果ガスを減らすなどの努力も必要です。災害が起こる前、起こった後の対策、対応を考えることも必要です。災害による被害は、私たちの日頃の備えによって減らすことが可能です。地域の防災意識を高めることは住み続けられるまちづくりにつながります。

防災クイズ

高校生の防災意識を高めるため、避難訓練の時に防災クイズを実施しました。自然災害が起きた時の行動を選択形式のクイズにし、全校生徒に考えてもらい、その後、私たちが解説を行いました。



オンライン語り部LIVE

山口県萩市は災害が少なく、被災経験がない生徒がほとんどです。震災について部員が学ぶため、東日本大震災の語り部の方の話をオンラインで聞きました。災害時の様子や家族の死、ほしい情報が全く入って来ないことなどを話してくださいました。語り部の方は震災以来、常にラジオを携帯しておられるそうです。



この日に聞いた内容を、FM山口のラジオ番組で紹介しました。



幼稚園での防災講習

地域の幼稚園で、防災講習の講師をつとめました。目的は、地震が起きた時の行動を園児に理解してもらうことです。日赤からお借りした教材を使い、クイズに答えてもらったり、「おはしもレンジャー」を登場させたりして、楽しみながら防災を学んでもらえるようにしました。



当日は、元気な園児たちに助けられて、楽しく講習を行うことができました。何より、講師をつとめた私たちが、防災について深く考えるきっかけになりました。



「夢の実現を目指して」

今後の展望・夢など

これらの取組を、今後も継続して取り組んでいきます。そして、持続可能な世界の実現のため、私たちにできることはまだまだあります。これからも自ら考え、実行し、多くの人にSDGsに取り組んでもらえるよう、頑張ります。



活動団体プロフィール

私たち萩高校JRC部は、1年生5人、2年生14人、3年生9人の計28人です。「一日一善」をモットーに、部員で活動内容を考え、校内外の清掃やボランティアを行っています。兼部の人や生徒会役員も多く、あわただしく、にぎやかに活動しています。